

企業版ふるさと納税を活用しエコツアーリズム活動を支援



▲竹内健治取締役と(左)鬼頭町長(右)

8月22日(月)株式会社J.R.東日本クロスステーションウオータービジネスカンパニー(竹内健治取締役)から、企業版ふるさと納税として寄附金300万円をいただきました。

この寄附金は、多くの方々から谷川岳の自然と安全にふれあい、楽しんでいただくためのエコツアーリズム活動に役立てていきます。同社は、谷川連峰の自然保護活動等にも取り組んでいただいております。今年6月にも谷川岳天神平のニッコウキスゲをニホンジカの食害から守る活動をされています。

株式会社BMZよりご寄附をいただきました



▲BMZ 製造部 業務課 原澤崇さん(左)と鬼頭町長(右)

9月15日(木)、インソールなどの製造販売を行う株式会社BMZ(高橋毅取締役社長)より、BMZ猿ヶ京スタジオで開催されたアウトレットセールの上から5万円を寄附していただきました。

このイベントは、地域の方に足と健康の関係を知っていただくとうと地元開催されました。町外からも利用者が訪れるなど好評だったため、今後も定期的に開催することです。

同社が製造する高性能インソールはオリンピック選手やプロスポーツ選手など、多くのトップアスリートに愛用されています。

第42号 まちづくり協議会だより

水上支部(鹿野沢区)の活動

鹿野沢地区には水上温泉の玄関口である水上駅があります。駅の北側にある転車台広場にはSL「D51-745」が展示されており、転車台は現在も使用されています。

この広場は、観光客はもちろんのこと、「乗り鉄」「撮り鉄」の聖地として多くの鉄道ファンも訪れることから、景観整備の一環として、まちづくり協議会で花の植栽および除草作業を実施しています。

今年、チューリップの球根を撤去し、新たにペゴニア、マツバギク、サルビアなどを植栽しました。この活動はSL広場にとどまらず、バードゴルフ場や水芭蕉公園などにも輪を広げています。

まちづくり協議会水上支部では、会員の高齢化が進んでいますが、現会員の熱意ある行動により活動を維持しています。

まちづくり協議会水上支部  
鹿野沢区 大野良樹



▲植栽活動の様子



▲まちづくり協議会水上支部鹿野沢区集合写真

## 地域おこし協力隊の活動

NPO法人水上自然遊楽所 所属

### 山梨 昭さん

皆様、こんにちは。MINAKAMITOWN.EXEのトレーナーをしている山梨昭です。

最近はストレッチ教室、パーソナル指導、バスケットの指導など色々なお仕事に関わらせていただいています。8月20日、8月21日で小学生を対象とした「第1回みなかみカップミニバスケットボール大会」をみなかみ町で開催することができました。男子12チーム、女子12チーム、総計24チームが参加をしていただきました。子どもたちや保護者の皆様、そして指導者にとって、かけがえのない時間になったのではないかと思います。



▲みなかみカップの試合



▲地元開催での優勝



▲優勝後のフォトセッション

私自身、大会を企画するのは今回が初めての経験で至らぬところばかりだったのですが、たくさんの方々のご協力もあり、無事に終える事ができました。今後も定期的にこのような大会を企画できるようにしていきたいです。

今シーズンのチームについてですが、今季のミナカミは「セントラルメインアイランドカンファレンス」に所属。全8ラウンドのうち既に6つのラウンドを優勝する事ができ、リーグ最速でのカンファレンス優勝をする事ができました。

今シーズンは初の地元開催をする事ができました。たくさんの方々が観戦しにきてくれた中、しっかり優勝する事ができて良かったです。今後もチームが良い成績を残せるようにサポートをしていきたいです。

一般社団法人FLAP 所属

### 中村明子さん

JR上越線後閑駅にあります高校生向けの登録制自習室「後閑駅ナカ学習室 みんなの放課後ターミナル」を運営している中村明子です。

この約半年、学習室では社会福祉協議会さま主催のLINE教室への協力のほか、施設紹介用のチラシを作成したり、見学会を開催したりしました。

見学会では小学生から大人の方まで幅広い年齢の方と接する機会を頂戴し、貴重な意見をいただく場となりました。チラシ配布に協力くださった皆さま、ご来所の皆さま、ありがとうございました。紹介チラシを見かけた際は、ぜひ目を通してください。

個人では地域の方主催の「キハダの植樹活動」



▲皮を剥いだ状態のキハダ

お話会に参加させていただいたり、ダーニング(ヨーロッパ伝統の繕い)体験会の開催に向けて準備してまいります。キハダは漢方の1つですが草木染めの染料でもあります。私にとって綺麗な黄色を分けてくれる木が漢方としてみなかみの収入源になる可能性があるを知り、視点を変えると世界は違う広がりを見せてくれると感動しました。

現在は、学習室・個人ともにイベント準備を9月開催を目指して進めており、他にもイベント企画が進行中です。私がキハダに感じたワクワクと同じような気持ちを参加者の皆さんに感じて貰えるよう、社内外連携を取って作り上げていこうと思います。



▲ダーニング体験会に向けてサンプル制作中